

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 —麻生鳥のさえずり公園—

第27号 2009年12月30日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者；間野 洋 編集者；木村 信夫

歌でつなぐ 森の楽しみ…09 植樹祭&収穫祭の報告 実行委員長 木村信夫

当会と多摩美みどりの会共催による植樹祭&収穫祭は、9回目を迎えましたが、年々、森づくりの進展を踏まえたテーマを立てて開催してきました。初期のころは「森を育てる」などのテーマで植樹にポイントを置きました。それに「森の恵みを楽しもう」と、ここで採れた芋で焼き芋、豚汁などが加わり、やがて「木と友だちになろう」をテーマに森の木々の観察、「森の恵みでアート」をテーマに森の草木で作品づくりと、イベント内容を充実させてきました。

植樹も一段落した今年は、間野新会長が重視する「地域との交流・連携」を目ざして、このイベントが地域の皆さんに森の豊かさ知って活動を理解していただく機会になるようにと企画しました。そんなとき、地元の女性コーラスグループ「アンサンブル・アミーチ」の皆さんに、ご参加いただけることになり、テーマを「歌でつなぐ 森の楽しみ」として開催しました。

11月15日（日）は気持ちよい好天に恵まれ、200人もの参加でにぎわいました。



午前中は、参加者みんなで焼き芋などの準備に続いて、自然観察指導員の高橋英さんのガイドで樹木観察。広場で目につくオオモミジ・マユミ・エノキ・コナラ・ソメイヨシノ・オニグルミの6本をまわり、木の素顔、巧妙な営みを見つめ、名札つけをしました。そのあと、コブシを記念植樹。そしてコーラスです。木々の間を渡る美しい歌声に、いま探索した森への親しみ、緑に包まれる心地よさがさらにふくらみました。

焼き芋、茹で芋（里芋）、豚汁の準備がととのい、いよいよ収穫祭スタート。磯野麻生区長、新堀多摩美町会長はじめ多くの皆様から激励の言葉をいただきました。秋の味覚を楽しみ、親しく交流し、今度はみんな一緒にコーラス。最高のお祝いでした。

多摩美の森…ここに素晴らしいふるさとが育っていると実感されたイベントができました。地域の皆さんのご支援、両会会員のご努力に厚くお礼申し上げます。

●植樹祭・収穫祭によせて

アンサンブル・アミーチ 代表 西平澄子

良い天气に恵まれた暖かい一日、私達グループ初の戶外コンサートでした。少ない人数で声が小さいのではと心配していましたが、バイオリンの応援もあり風に乗る無事に終わり、ほっとしております。

色づき始めた木々に囲まれ、自然の中で歌を歌うという事は素晴らしい気持ちでした。この様な催しに参加させていただき、秋の一日を楽しめて良い思い出となりました。有難うございました。

■西生田小3年生 森の学習が実施される

副会長 長 澤

西生田小学校3年生の平成21年秋の総合的学習として、麻生市民健康の森で体験学習が行われることとなり、私たち多摩美の森の会が中心となって協力し、実施されました。

第1部 そばと麦の学習

3年生144人が楽しく学習するために、大きく2分割し、それをまた2分割して、各テーマを学習する方式としました。

実施日時；10月1日（木）、2日（金）

9時30分～11時50分

そばの学習；1日は森で学習、2日は雨天のため学校の視聴覚室

麦の学習；小学校校舎家庭科室

1. そばの学習

10月1日は「そば処 櫟」の広場に集合。

- ① プロの蕎麦打ちの見学。
- ② そば畑で、鎌を使って刈取り、実を収穫。実を砕いて粉・胚芽・そば殻について学習。
- ③ 「そば茶」の試飲。

蕎麦打ち見学で、プロのみごとな技に感激、その後森の畑で恐る恐る鎌を使い、黒くて三角のそばの実・殻に納得し、そば茶の香ばしさや美味しさに感動した2時間でした。

2日は雨天のため小学校の視聴覚室にて、

- ① そばの実、そば粉・胚芽・そば殻の学習、ソバ茶の試飲、② 森で採取した木の葉を使った押し葉スタンプ作り（ハガキ大の用紙）をしてたくさんの作品ができました。

2. 麦の学習

多摩美の森で収穫した麦を学校に持参し、

- ① 3種類の麦の名当てクイズ。
 - ② 大麦（六条大麦）、小麦、2条大麦（ビール麦）の用途の学習。麦わらでストローづくり（一人2本）。
 - ③ 大麦をフライパンで煎って麦茶づくり。
 - ④ 手づくり麦茶を、手づくりストローで試飲。
- 名当てクイズでは、大麦と小麦を間違え、

正解発表に歓声上がり、ストローづくりでは麦わらがちぎれず苦労し、麦煎りではもうもうの煙で目が痛く暑さにグッタリ。しかし最後には、麦わらストローでの麦茶試飲で、満足満足でした。

この度の体験学習には毎回、会員他12名のサポーターの協力と多数の父母の方々参加により、事故もなく無事終了できました。

児童よりお礼のお便りが届きました。紙面の関係上その一部を紹介します。

● 多摩美の森の会 様へ

◆ この前は、いろいろなこと教えてくださってありがとうございます。私が一番心にのこったことは、そば茶をのんだことです。はじめてのんでとってもおいしかったです。たのしかったことは、そばをかまで切るときです。私はかまも始めて使うのできんちょうしました。でもおじさんたちが手つだってくれたので上手に切れました。そばの実をすりつぶすのはたいへんなことだと始めてわかりました。あとクモのオス、メスのみわけかたを教えてくださいありがとうございます。これからもがんばってください。（A・Mさん）

◆ ぼくはそば体けんを楽しみにしていました。テレビでそばの実がしょうかいされてもがまんして見ませんでした。そして体けんスタートの日、そばの実を見たときとてもこうふんしました。そばの実について三つのことがわかりました。一つ目はそばの実は上から見ると、三角形でした。二つ目は実がとってもかたかったことでした。三つ目は実の中に白いこながあったことです。（K・Iくん）



写真：そばの実をすりつぶす

◆ さいしょにやったどれが大麦か小麦かビール麦かをあてるのは、はずれちゃったけどおもしろかったです。大麦や小麦、ビール麦のせつめいもわかりやすくしてくれてありがとうございました。心にのこったことは、麦100%の麦茶をのんだこと、どれが大麦か小麦かビール麦かおしえてもらったことです、いまでもおぼえています。ぼくには、ぎもんがあります。なんで大麦か小麦かビール麦かきめられたかとのことです。またこんど来てくれるきかいがあったらもっといろいろなこと教えてほしいです。ぜったいにわすれません。
(S・Kくん)

第2部 冬の森の学習

冬の森はどうなっているのか、何があるのか？ 西生田小3年生3クラス(1クラスはインフルエンザで不参加)の野外体験学習が森で開催されました。今回は、3クラス全員の合同で3講座とし、各講座は2分割方式。実施日時；12月2日(水)午前中2時間
学習内容；木や草の種の旅立ち、冬の森を写生しよう、ネイチャーゲーム(森のビンゴゲーム)の3講座。

1. 木や草の種の旅立ち

自然観察指導員の高橋 英さんによる指導により、自然界で巧みに進化してきた植物たち、いろいろな種の不思議が紹介され、児童たちの目もランランと輝いていました。

2. 冬の森を写生しよう

緑豊かで小鳥もいっぱい森のイメージとちがう冬の森はどんな姿をしているか、一度眺めてみよう、40分間写生に挑戦。さあ困った顔、何とか冬を見つけたようでした。

3. ネイチャーゲーム(森のビンゴゲーム)

ミノムシはどこに？ コケのはえた木は？ アリじごくは？ などなど、16コマの西生田小学校オリジナルのビンゴゲーム用紙を手に、森のおじさんたちのアドバイスを受け、ところせましと森を探索。ビンゴがいくつできるか競いました。たのしかったー。

晩秋の植物観察会

勝田政吾

今秋の観察会は多摩美の森を離れて、文京区の六義園を訪れることにしました。この庭園は、よく知られている通り元禄時代の老中柳沢吉保の創設になる回遊式日本庭園で、現在の公開面積約8.8haを有する広大かつ優雅な名園です。その名の六義とは、中国最古の詩集「詩経」の6種の詩の分類に倣って古今集仮名序で定めた和歌の分類の文体をいい、これを造園のベースにしたというのですから、誠に風雅の極みというべきでしょう。島や橋から岸边やちょっとした岩に至るまで雅な名前がついています。

当日11月28日は好天に恵まれ良い観察会となりました。ちょうど園の秋の催し「紅葉のライトアップ」の期間中だったので、いつもは入れない駒込駅直近の染井門から入園でき好都合でした。入ったばかりの一本道は両側とも低高木が生い茂って薄暗い道でした。その奥の方の真っ赤な小さい実が房状にたくさんついている高い木はイイギリといい、昔はその葉でご飯を包んだので飯桐といったことでした。有名なシダレザクラの脇を通り池の方に行く右側に見事に紅葉したイロハモミジ数本があり思わず見とれました。

さらに池の縁に沿って進んで行くとスタジイ、クスノキ、コナラ、イヌシデ、ケヤキとお馴染みのものが目に入りますが、どれも堂々たる風格を具えた巨木です。また、タイザンボク、ネズミモチ、モッコクなどもこんなに大きくなるものかと感心させられました。ハゼの紅葉、イチョウの黄葉も見事でしたが、目通し1mを超えるかと思われるトウカエデの大きさは圧倒されました。



■第3回かわさき花と緑の活動団体交流会に参加して 会長 間野 洋

去る12月5日(土)(財)川崎市公園緑地協会主催の掲題の交流会が開催されました。花関係9団体、緑関係18団体、企業関係2団体の29団体が参加しました。川崎市市民健康の森フォーラムが一段落したため、7区の市民健康の森もすべて参加しました。

9時30分より各団体の展示が始まり、その後各団体が紹介され、各々の特徴などが発表され、お互いの交流が行われました。

午後からは主催者よりの挨拶、環境局緑政部より「川崎市緑の基本計画」等の説明があり、続いて「次世代につなぐ花と緑」をテーマに6団体の活動報告が行われました。

当会からは長澤副会長より会の概要説明と、活動について「子供達との交流」をテーマにイベントを通して報告がありました。他の団体の報告もそれぞれ知恵を絞り特徴ある活動をされており、参考になりました。

最後に佐々木洋氏(プロ・ナチュラリスト)より同じテーマで基調講演があり、久しぶりに内容のある楽しい話が聞けました。6団体の活動報告に対しても、適切なコメントをいただきました。また特に「自然と人は対極的に見るのではなく、自然と人は一体であると

◆「森の家」に、丸石の風情

森の家の壁は雨で泥跳化粧をする。防止のために碎石を敷いた。それが四散するので、防護壁にと石を並べた。石工のセンスはなく、中谷画伯の支援を受けた。腕の痺れをかばう手抜きで、コンクリート棒も使ったことに忸怩たる思いが残った。石は星霜を重ねて自然と鎮座するが、人工物は劣化と老醜を増すのみなので。石も若干残ったので、次は多摩美城の石垣でも…と思案している。(大塚伊四郎記)



いう考え方で皆さん今後の活動を続けてほしい」という言葉が印象的でした。

私たちは今回この交流会に初めて参加させていただきました。午前中の各団体相互の交流については、もうひと工夫欲しいと感じましたが、全般的に充実した交流会であったと思います。企画された主催者の皆様方に心から感謝いたします。

●今後の活動予定 副会長 中谷一郎

新年(寅年)を迎え、寒い季節の到来です。世の中、不景気で暗い話が多いですが、自然界の一員の人間も森で美味しい空気を吸い、体を動かしているとそんなことを忘れ、活力が湧いてきます。多数の皆様参加をお待ちします。

今後の活動予定は下記の通りです。

1月6日(水) 初出、除草、麦踏、清掃

1月17日(日) 草刈、森と畑の手入れ、プレーパーク準備、清掃、

1月23日(土) プレーパーク

(麻生プレーパークを創る会 主催)

2月6日(土) 森の手入れ、除草、麦踏

2月21日(日) 森の手入れ、かぶとむしのお宿改修、除草

3月6日(土) 森の手入れ、除草

3月13日(土) 里山フォーラムIN麻生のフォーラム

3月21日(日) 森の手入れ、除草

またこの間の補助作業日は水曜日で、1月13日、27日、2月10日、24日、3月10日、24日です。

*昨年の暮れに、この森の環境は素晴らしいと2名の方が新会員になりました。

★会員募集中—1度見学にお出てください。里山の楽しさを親子で味わってください。年会費1,000円。

★皆さんの投稿、感想をお寄せください。

問合せ、連絡先

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcom.home.ne.jp

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com